

# 第63期決算公告

平成29年6月27日

東京都台東区秋葉原 5-9  
 サーマ株式会社  
 代表取締役社長 北川 文映

## 貸借対照表

平成29年3月31日 現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>流動資産</b>	<b>4,503,539,513</b>	<b>流動負債</b>	<b>3,897,752,302</b>
現金及び預金	343,683,895	支払手形	341,197,328
受取手形	937,229,480	買掛金	1,633,484,770
電子記録債権	164,311,961	短期借入金	1,500,000,000
売掛金	1,676,763,998	未払金	150,842,627
商 品	27,839,242	未払消費税等	24,731,200
製 品	691,969,246	未払費用	3,918,625
原材料	377,440,808	前受金	28,124,211
貯蔵品	27,060,490	預り金	3,597,041
前払費用	9,510,097	未払法人税等	144,964,500
未収入金	190,332,422	賞与引当金	66,892,000
繰延税金資産	42,727,949	<b>固定負債</b>	<b>275,219,238</b>
その他	15,561,925	退職給付引当金	227,551,393
貸倒引当金	△ 892,000	長期未払金	19,166,667
<b>固定資産</b>	<b>2,064,359,418</b>	その他	28,501,178
<b>有形固定資産</b>	<b>1,827,981,071</b>	<b>負債合計</b>	<b>4,172,971,540</b>
建 物	644,613,857	<b>(純資産の部)</b>	
構 築 物	61,536,707	<b>株主資本</b>	<b>2,394,634,490</b>
機械及び装置	766,045,504	資本金	250,000,000
車両運搬具	7,115,086	資本剰余金	150,000,000
工具器具備品	17,803,711	資本準備金	150,000,000
土 地	330,866,206	利益剰余金	1,994,634,490
<b>無形固定資産</b>	<b>116,969,257</b>	その他利益剰余金	1,994,634,490
ソフトウェア	116,903,257	特別償却準備金	37,595,252
その他	66,000	繰越利益剰余金	1,957,039,238
<b>投資その他の資産</b>	<b>119,409,090</b>	<b>評価・換算差額等</b>	<b>292,901</b>
投資有価証券	5,042,984	その他有価証券評価差額金	244,131
関係会社株式	15,000,000	繰延ヘッジ損益	48,770
長期貸付金	9,478,171		
長期繰延税金資産	63,032,331	<b>純資産合計</b>	<b>2,394,927,391</b>
その他	26,857,604	<b>負債・純資産合計</b>	<b>6,567,898,931</b>
貸倒引当金	△ 2,000		
<b>資 産 合 計</b>	<b>6,567,898,931</b>		

## 個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

### 1. 資産の評価基準及び評価方法

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式 ..... 移動平均法による原価法

その他有価証券

時価のあるもの ..... 期末日の市場価格等に基づく時価法(評価  
差額は全部純資産直入法により処理し、売却  
原価は移動平均法により算定)

時価のないもの ..... 移動平均法による原価法

#### (2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品、製品、原材料 ..... 総平均法による原価法(貸借対照表価額については  
収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)

貯蔵品 ..... 最終仕入原価法(貸借対照表価額については  
収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)

#### (3) デリバティブの評価基準及び評価方法

デリバティブ ..... 時価法

### 2. 固定資産の減価償却の方法

#### (1) 有形固定資産 ..... 定額法

(リース資産を除く)

#### (2) 無形固定資産 ..... 自社利用のソフトウェアについては、社内における利用

(リース資産を除く) ..... 可能期間(主として5年)に基づく定額法

### 3. 引当金の計上基準

#### (1) 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、  
貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し回収不能  
見込額を計上しております。

#### (2) 賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に負担すべき額を  
計上しております。

#### (3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金  
資産の見込額に基づき計上しております。

4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) ヘッジ会計の処理

原則として繰延ヘッジ処理によっております。なお、振当処理の要件を満たしている為替予約については振当処理によっております。

(2) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(貸借対照表に関する注記)

1. 有形固定資産の減価償却累計額 3,333,958 千円

2. 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

短期債権	5,112 千円
長期債権	5,040 千円
短期債務	17,405 千円